

ご自由にお持ち帰りください

伊豫國  
あじの郷  
通信  
第13号  
Spring 2015

# P@CKTTO!

ぱくつと！

愛媛県伊予市のあいしい情報を“パクつと”食べちゃう地域情報誌

【特集】

伊予市出身！

## 中川優の 中国料理教室

中川優シェフ  
直伝レシピ



伊予市自慢の『この逸品！』  
にくの一色「自家製焼き豚」

伊予農業高校×松山大学×あじの郷  
iProject!

TAKE  
FREE  
＊0

※本誌は無料です

ミカンまる情報局  
読者プレゼントもあるよ！



ますます、いよし。  
伊  
スル  
市

# 目次

# P@CKTTO! 第13号

伊豫國あじの郷通信  
ばくっと！ Spring 2015



01 伊予市が生んだ中国料理の達人  
**中川優さん紹介**

表紙撮影場所：谷上山公園  
(伊予市上吾川)



02 中川優の中国料理教室

04 中川優シェフ直伝レシピ紹介

伊予市自慢の『この逸品！』

06 にくの一色「自家製焼き豚」

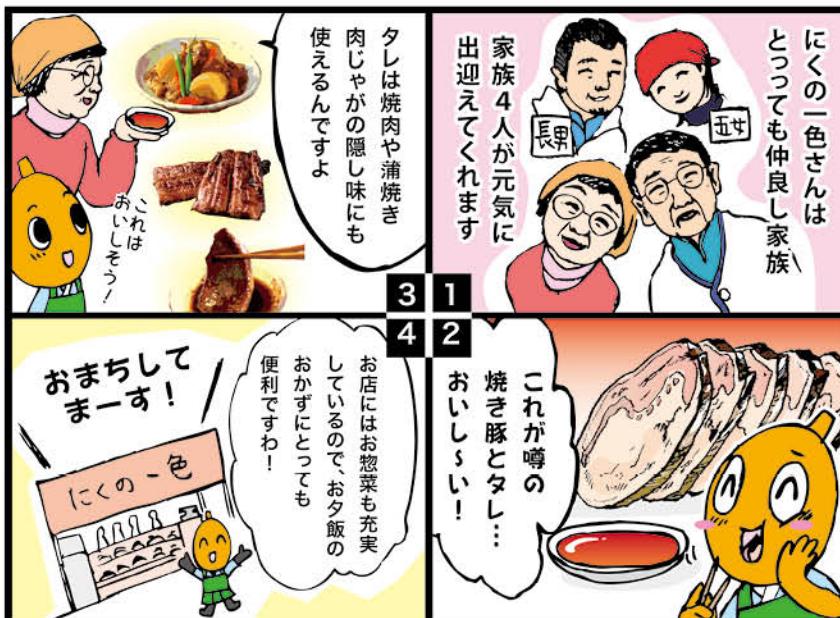
08 iProject! ~伊予農×松大×あじの郷~

10 ミカンまる情報局

12 配布協力施設一覧

13 読者プレゼントコーナー/  
読者のひろば

## 【4コマ漫画】受け継がれる味！



\* 「にくの一色」について詳しくは、PGを見てね！

# 四川料理の店「天外天」オーナーシェフ 伊予市が生んだ中国料理の達人「中川 優」

## 【プロフィール】

1959年伊予市湊町に生まれ、地域に愛されながら元気に青年期まで過ごしました。少年期に芽生えた料理人への夢の実現に向かって、大阪の調理師専門学校へ。その後、東京で四川料理の第一人者である陳建民氏に師事し、一番弟子として11年間の修行を経て、陳先生の「赤坂 四川飯店」の料理長を務められました。

現在は、東京都内で四川料理の店『天外天』のオーナーシェフとして、開業27周年を迎える超人気店を経営されており、陳先生のご子息の陳建一氏とともに、中国料理界の第一線でご活躍中です。

中川さんは、テレビの料理番組に数多く出演され、また料理講習会を主催するなど、本物の味を幅広く普及し、そして多くの方にご指導をされています。

卓越した腕前とともに、温厚なお人柄から、多くのファンがいらっしゃることは言うまでもありません。

特に、中川さんは「ふるさと伊予市」を愛され、さまざまな形で応援をいただいております。なんと、『天外天』店内にも、この「P@CKTTO!」(ばくっと)を設置していただき、伊予市の食の情報を東京で広く発信してくれています。

## 【お店の情報】



### 四川料理の天外天

東京都文京区千駄木3-33-6

☎ 03-3822-3333

▶ <http://tengaiten.com/>

※四川料理の天外天は、伊豫國「あじの郷」づくりに協賛しています。



# 中川優の中国料理教室



2/14  
(土)

## 豚ロース肉の黒酢豚



作り方  
→ P4へ

肉の表面を格子状に切って  
おくと食感が良くなるよ

この日作ったメニューは「豚ロース肉の黒酢豚」「伊予灘魚の中華の刺身」「ちりめんじやこのチャーハン」「キウイ入り柔らか杏仁豆腐」の4品です。



食感が良くなる肉の切り方を教えてもらう参加者

## 伊予灘魚の中華の刺身



中川さんがこだわったのは、「伊予市産」食材であること。伊予市で手に入れられないものでも、なるべく「県内産」にしました。

そして、家庭でも簡単に出来ること。本格中国料理というと、特別な調味料を使わないと…と思いがちですが、どこの家庭にも常備してあるものでサッと作れるメニューを紹介してくれました。



いつも朗らかな表情が、調理中は厳しい目つきに変わる

ちりめんじやこのチャーハン



作り方  
→ P5へ

キウイ入り柔らか杏仁豆腐



作り方  
→ 12号掲載

参加した方からは「教え方がわかりやすかった」「簡単にできた」「家でも作って家族に食べさせたい」「また参加したい」という声がたくさんありました。

テレビ番組に出演されたり、料理講習会を開いたり、精力的に活動される中川さん。

今後も活躍に目が離せません！



次ページは  
酢豚とチャーハンのレシピ！ →



## 中川優シェフ直伝レシピ 第2弾

### 豚ロース肉の黒酢豚



#### <材料(4人前)>

豚ロース肉 … 200g  
里芋 … 100g  
生しいたけ … 2枚  
アスパラ … 2本  
パプリカ（赤・黄）… 各 25g  
サラダ油（天ぷら用）… 適宜

#### 《肉の下味》

塩 … 少々  
こしょう … 少々  
酒 … 小さじ1  
片栗粉 … 大さじ1.5

#### 《衣》

片栗粉 … 大さじ2  
水 … 100cc  
薄力粉 … 90g  
塩 … 少々  
サラダ油 … 小さじ2  
ベーキングパウダー … 小さじ2

#### 《黒酢豚ソース》

砂糖 … 大さじ5  
しょうゆ … 大さじ3.5  
黒酢 … 大さじ5  
酒 … 大さじ1  
塩 … 少々  
水溶き片栗粉 … 大さじ2  
鶏ガラスープ … 大さじ5  
ごま油 … 小さじ1

#### <作り方>

- ① 里芋は茹でておき、野菜はひと口大に切つておく。
- ② ロース肉を2cmの厚さに切り、表面を格子に切る。裏返してひと口大に切る。
- ③ 肉に混ぜ合わせた《肉の下味》をつける。
- ④ 《衣》の材料の片栗粉と水をボウルに入れてよく溶かし、薄力粉・塩・サラダ油・ベーキングパウダーを入れて軽くかき混ぜ、③の肉に衣をつける。
- ⑤ 油を160～170℃にして肉を揚げる。表面が色付いてきたら一度取り出しておく。さらに温度を高温にして里芋を素揚げし、表面が色付きはじめたら、しいたけ→アスパラ→パプリカの順で素揚げして取り出す。
- ⑥ 高温の油で肉を二度揚げする。
- ⑦ フライパンに《黒酢豚ソース》を入れ、とろみが出るまで煮詰める。
- ⑧ ⑤⑥で揚げた食材をフライパンに入れ、ソースを絡めて盛りつける。



## 中川優シェフ直伝レシピ 第3弾

### ちりめんじゃこのチャーハン



#### <材料(2人前)>

温かいごはん … 450g  
卵 … 3個  
鶏もも肉 … 100g  
ちりめんじゃこ … 40g  
パプリカ（赤・黄）… 各 25g  
ザーサイ … 20g  
青ネギ … 30g  
しょうゆ … 大さじ1  
サラダ油 … 適宜

#### 《肉の下味》

しょうゆ … 小さじ2  
酒 … 小さじ1

#### 《味付け調味料》

塩 … 小さじ1/2  
こしょう … 少々

#### <作り方>

- ① パプリカは小さく切り、ザーサイ・青ネギはみじん切りにしておく。
- ② サラダ油（大さじ3）でちりめんじゃこを炒め揚げして取り出す。
- ③ 鶏もも肉を小さく切って、《肉の下味》をつける。香ばしくなるまで鍋で炒め、取り出して②と一緒に入れておく。
- ④ 卵を溶いたボウルに、ご飯・ザーサイ・《味付け調味料》を入れて卵ご飯を作る。
- ⑤ フライパンにサラダ油（大さじ3（②で炒めた油も含む））を入れ、④の卵ご飯を入れて炒める。
- ⑥ ご飯がパラパラしてきたら、パプリカ・③の鶏肉とちりめんじゃこを入れて炒める。
- ⑦ 最後にしょうゆ（大さじ1）を、フライパンの真ん中で少し焦がしながら入れ、青ネギを入れて混ぜ合わせる。

先にごはんと卵を  
混ぜておくのが  
Point！

※「中川優シェフ直伝レシピ」は毎回掲載しますので、お楽しみに！

# 伊予市自慢の『この逸品！』

## にくの一色

# 自家製 焼き豚



伊予鉄郡中駅から近く、古くから「郡中の顔」である商店街で精肉店を営む『にくの一色』。ご主人の一色克仁さんを中心に、家族4人が仲良くお店を経営している。そんな一色さんが一番のこだわりを持って売り出しているのが、「自家製焼き豚(秘伝のタレ付)」だ。

国内産の豚ロース肉に粗塩をすり込み、タコ糸で巻いて合わせ醤油に漬け込む。その後オーブンでじっくり焼き、もう一度合わせ醤油をかけて3分間、さらに水飴にくぐらせて3分間焼き上げれば、表面に綺麗な「照り」が生まれ、甘みがコーティングされた美味しい焼き豚が出来上がる。

肉の大きさや形によつても焼き時間や、オーブン内の置く位置にもこだわる。こうやつておよそ1時間かけてじっくりと焼き上げられるのだ。

「うまいものを作るには、ひたすら『忍耐』よ。子育てと同じ。その子にあつた手のかけ方があつて、手間をかけてやらないと、良い焼き豚はできない」と一色さんは語る。

そして、この焼き豚に欠かせないのが、にくの一色「秘伝のタレ」。このタレは、焼き豚を焼き上げる工程で出る、旨み成分をたっぷり含んだ肉汁をもとに作られていて、なんと昭和22年創業以来60年以上もその味を守り続いているというから驚きだ。

秘伝のタレをつけて焼き豚をいただいてみると、なるほど、焼き豚のしつとりジューシーな味わいに、タ



レの深いコクと甘みが相まつて、いくらでも食べられそう。白いご飯の上にたっぷりの焼き豚をのせ、豪快にタレをかけて焼き豚丼にすれば、焼き豚の力強さとタレの絡んだご飯のやさしさがピッタリで、文句なく最高にうまい!!

何よりお店に来て下さるお客様を大切にしている一色さん。新しいお客様にも来ていただけるように、地元商店街が不定期で開催している『伊予市百円商店街』では、通常365円の焼き豚を、赤字覚悟の108円で販売しているという。なんとも太っ腹!

「商売やけん厳しいこともあるけど、変わらずに商品に愛情をかけて自分の納得する商品作りを続けていけば、それを分かってくれる人も多い。継続は力なり!」

こうした強い想いこそ、このお店が長年愛されてきた秘密なのだろう。

我が子のように手塩にかけて作られ、長い年月をかけて旨みを積み上げた「秘伝のタレ」の付いた「自家製焼き豚」、伊予市郡中の商店街の人情あふれるやさしさと一緒に、ぜひとも一度味わっていただきたい。



にくの一色

愛媛県伊予市湊町19-1

☎ 089-983-0021

【営業時間】8:00~19:00

【定休日】日曜日

一色さんのお惣菜・お肉の一部  
は「手づくり交流市場町家」で  
も購入することができます。

アイプロジェクト  
iProject! って何?



# iProject!

伊予農業高校・松山大学・伊豫國「あじの郷」づくりの3者が協働し、伊予市の特産品などを活用して伊予農業高校の生徒が開発したメニューを、松山大学生が消費者目線で向上させたうえで、企業に売り込み、実際の商品として世に出すことを目指すプロジェクトのことです！

## 伊予農生が大阪の物産フェアで「五勇士パン」を販売!! 大阪のお客さんに大好評で全部売り切れました！

大阪ダイキなんば店で行われた「愛媛のふるさと愛味(うまい)ものフェア」に参加して、2月5日(木)、6日(金)の2日間限定で、伊予農食品化学科の生徒2人が「五勇士パン」を販売してきました。

5種類の味のパンが入った100セットを、パンへのこだわりなどを熱心に説明しながら、見事「五勇士パン」を完売いたしました！



## 食品化学科で五勇士のイラストパンを焼き上げる！ 150枚の食パンで五勇士のイラストを再現



平成26年11月9日(日)に行われた農業祭に合わせて、食品化学科の生徒が制作したのが、五勇士の形に焦げ目をつけて焼き上げた「五勇士の食パン」。五勇士のかわいいイラストと、「WELCOME いよのー」の文字が描かれています。

150枚の食パンをズレないように並べて上手に焼き上げることができました。

これは大作です！

## 快挙！食品化学科3年菊川絢加さん 全国高校生パンコンテスト手仕込み部門 最優秀新人賞を受賞！

1月17、18日に静岡県で開催された「全国高校生パンコンテスト」に中四国代表として食品化学科の菊川さんが出場し、見事に最優秀新人賞を受賞しました！

「自信を持って、練習の結果が出せました。お世話になった篠崎ベーカリーさんをはじめ、皆さんに感謝しています！」

これからもパン作りを続けたい、と語ってくれました。



## 伊予地区農業・生活研究フォーラム2015で伊予農生活科学科の生徒がこれまでの成果を発表しました！



伊予地区的農業者を対象とした農業・生活研究フォーラムが2月10日(火)に開催され、生活科学科の生徒がこれまでのiProject! の活動について発表を行いました。

会場では、実際に生徒が考案した栗バターや空豆あんの試食を用意し、参加した人々に大好評でした！

「商品化や開発に至るまでには、地域の人との交流がとても大切だと感じた。今後も商品化へ向けてがんばりたい」と意気込みました。

## 特用林産課は「恋するじゃこカツキノコカレー」を発表 お世話になつた双海町へ恩返しのため、商品化を計画！



特用林産課の生徒が考案した「恋するじゃこカツキノコカレー」は、全国うまいもん甲子園に出場。決勝進出の14校に選ばれました。

双海の山の幸シイタケと、海の幸「じゃこカツ」を甲羅に見立て、ご飯を地元神社の狛亀にあやかって亀の形に仕上げました。

現在は双海のイベントなどで限定販売をしています。

## ミカンまる情報局

超ローカルキャラ・ミカンまるがメジャーになるため奮闘する活躍や伊予市の旬の情報を毎号お届け！



### ミカンまる

伊予市のPRキャラクターで  
伊豫國「あじの郷」五勇士のリーダー。  
好きな物は、伊予市でとれる  
おいしいものならなんでも！

## スイーツアイデア募集でグランプリ決定!! 地元の農産物を使ったスイーツが誕生



2月12日(木)、伊予市のオリジナルスイーツを作ろう！と伊予商工会議所主催で始まったこの企画。一般公募でレシピを募集し、67作品もの応募の中から、グランプリ、準グランプリの3作品が決まったんよ！！

グランプリに選ばれたのは写真手前の「くりと菜の花」。考えたのは、松山市の三好勇太さん。伊予市の栗やいちじくを使い、双海の海を栗クリームで表し、伊予市の菜の

花を飾りにつけ、伊予市の港を作品全体で表現したんやって！試食会も開催したけどあっという間に無くなるほど人気やったんよ！！すごい！

準グランプリには、「中山栗と唐川ビワ茶のムースタルト」と「しゅ一栗いむ」が選ばれたよ。どれも伊予市らしい作品やね！

今後、商品として出してもらえるお店を大募集！

お問い合わせは伊予商工会議所（☎ 089-982-0334）まで。



## 大阪で伊予市の物産PRをしてきたよ! ～愛媛のふるさと愛味（うまい）ものフェア～

2月5日(木)から8日(日)まで、大阪の「ダイキなんば店」で、愛媛県と市町連携事業による「愛媛のふるさと愛味（うまい）ものフェア」が開催され、ボクも伊予市のPRのお手伝いをしてきたよ。

伊予市を含めて4市町が出店、伊予市のブースでは



特産品や高級柑橘「甘平」の販売や観光PRを行ったよ。オープン2日間は武智市長がトップセールスをして、残りの2日はボクがみきゃんと一緒にがんばったよ。大阪の人に伊予市を少しは知ってもらったかな！？



## ミカンまるのラッピング自販機が登場! 中山「クラフトの里」に可愛く設置されたよ

このたび、アサヒ飲料さんのご好意で愛媛県のみきゃんのラッピングに次いで、県内の市町では第1号として国道56号沿線にある「クラフトの里」にミカンまるの自動販売機が設置されたんよ。オレンジ色でボクが3面に描かれ、伊予市の新しいロゴも入ってとってもカワイイけん！

どこに自動販売機があるか探してみてね。これから自動販売機を設置したいっていう人はP@CKTTO!編集部まで連絡してね！仲間をたくさん増やそうね。連絡待っとるよ！



※アサヒ飲料株式会社は、伊豫國「あじの郷」づくりの活動に賛同しています。

## 双海地区で農業体験等のモニターツアー開催! グリーン・ツーリズムで地域の活性化を目指す！



2月1日(日)、双海町で開催された「グリーン・ツーリズムモニターツアー」。当日は市内外から訪れた23人の参加者が、手作りピザや、コンニャク、ジャム、炭焼き作りを楽しんだんよ！

次回は5月にも開催予定やけん、興味のある方は伊予市ブランド推進課（☎ 089-983-6350）まで問い合わせてね！







# みんな伊予市においでよ!!

